

3-1 乳業メーカーの廃棄物を原料にしたペレットたい肥 (株式会社バイオマスソリューションズ)

- 株式会社バイオマスソリューションズは、乳業メーカーから排出される工業汚泥や乳製品製造残渣を活用し、汚泥由来のペレット肥料「地力の源さん」を製造。

■ 国内資源の種類

- ・ 工業汚泥
- ・ 製造残渣（乳業メーカーの廃棄物）

■ 肥料の種類・肥料名称

- ・ 汚泥肥料
- ・ ペレット堆肥
- ・ 汚泥由来のペレット肥料「地力の源さん」

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ 清掃会社として産業廃棄物の処理をしていたが、地域に賦存している一次産業由来の廃棄物を再利用できないかと考え、地元の主産業である酪農業と密接に関係している乳業メーカーの廃棄物に着目。

取組の内容

- ・ 水分率の高い汚泥を木材チップで水分調整し、堆肥化を促進。
- ・ 畑作地帯の農家に施肥設計のコンサルティングを行い、汚泥肥料の販売に成功。
- ・ 畑作農家が所有する既存の施肥機（ブロードキャスター）による肥料散布が可能となるように、ペレット化技術を開発。
- ・ 原料調整時のノウハウを蓄積し、季節を問わず、製品の均一化を実現。

成果（見込み）

- ・ 環境負荷低減の観点から利用者が購入。
- ・ ペレット成形されているため散布しやすく、嫌な臭いがしない。

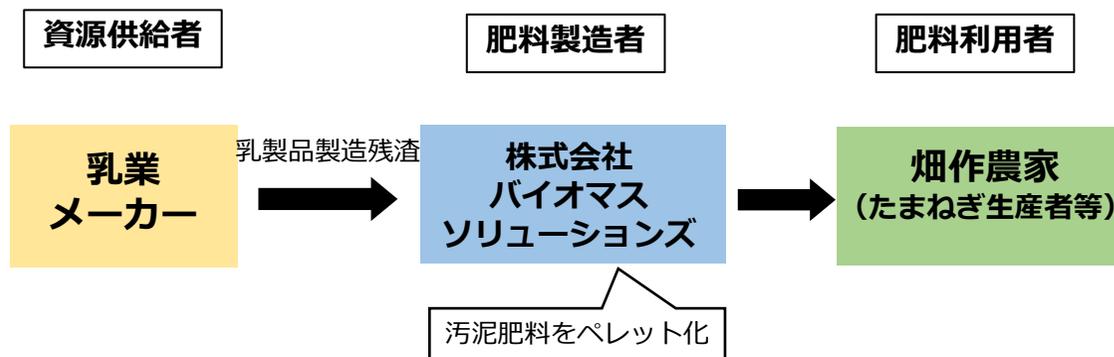
■ 作物

- ・ 全般（たまねぎ生産者などからの引き合いが強い）

■ 肥料の特徴等

- ・ 汚泥肥料のため、成分保証はなし。
- ・ 一般的な牛ふん堆肥と比べると水溶性リン酸の含有量が多い。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・ 現在は汚泥肥料を製造しているが、有機農業に対応可能な新たな堆肥の製造、販売。
- ・ 廃石膏ボード由来の土壌改良剤硫酸カルシウムを開発するなど、廃棄物由来の肥料等を開発。
- ・ 自動で堆肥化するロボットの開発や、堆肥の熟成化を管理する技術開発への投資。

